



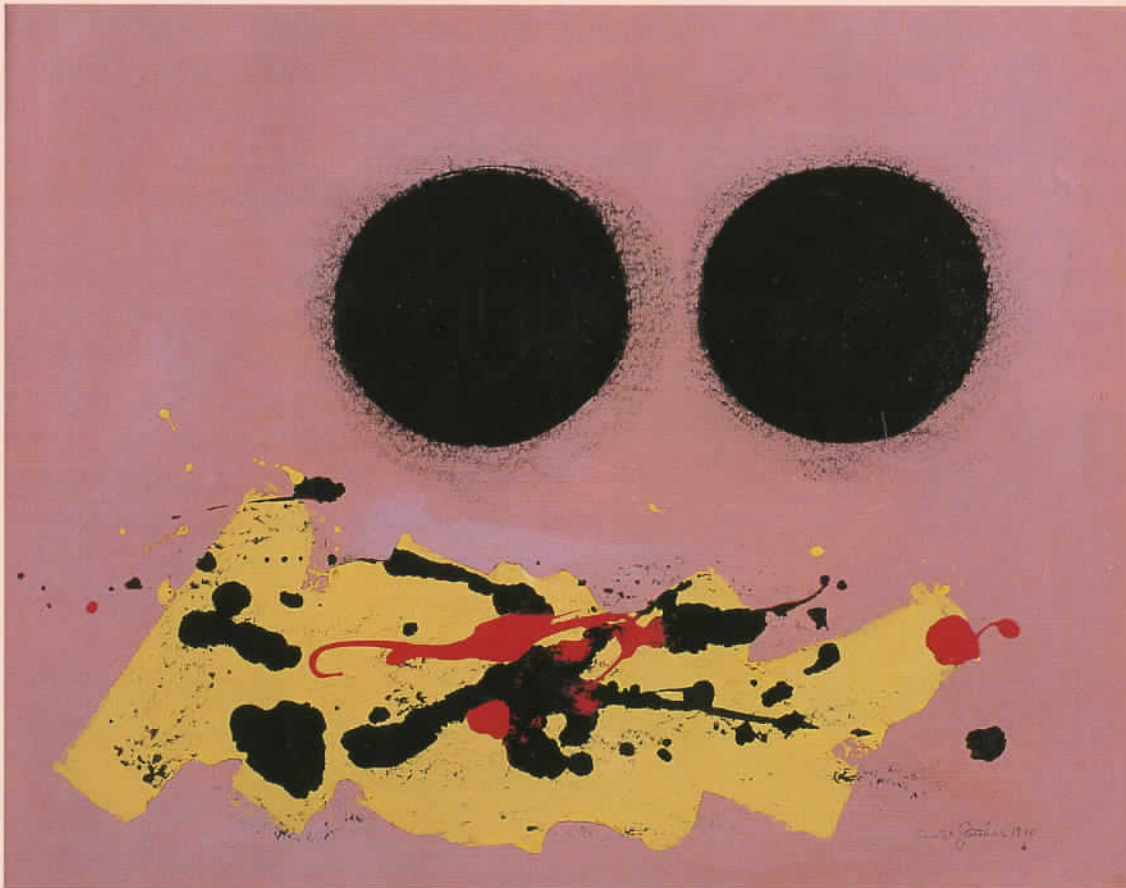
博物館ニュース「SHÛ」

NO. 37

“SHU” Tamagawa University Education Museum News

2011年10月1日

玉川大學教育博物館



目次

展覧会への招待	2
新館長より・	
新収資料紹介	3
報告	4
資料をご寄贈いただきました・	
質問です・	
お知らせ・	
ミュージアムグッズのご紹介	5
開館カレンダー・	
利用案内	6

ふたつの黒い円盤 アドルフ・ゴットリーブ作
紙に油彩、アクリル絵具 48.0 × 61.0cm 1970年
藤沢武夫氏寄贈資料

アドルフ・ゴットリーブ (Adolph GOTTLIEB
1903 - 73年 ニューヨークに生まれ、ロングアイランド・イーストハンプトンで没)

ゴットリーブは、1940年代はじめ、原初的なものへの関心から象形文字風の記号をモチーフとした作品を制作しはじめました。1950年頃からは、躍動的な筆触の作品、そして自然を抽象化した円形と抽象的な図とを対比させた画面構成へとかわっていきました。1940年代後半から50年代に全盛を迎えた抽象表現主義を通して、20世紀のアメリカ美術界を代表する画家の一人として知られています。

展覧会への招待

ミュージアム・コレクション展 2011

当館では芸術分野のコレクションのうち、美術資料は主に西洋と日本を地域的区分として、古代から現代までの絵画、彫刻、版画、工芸など、約1,400点を収蔵しています。美術資料は、開館以来、企画展や発表展以外の期間に常設的な展示をしてきましたが、スペースの関係で展示できた資料には限りがありました。そこで、今回美術資料コレクションの中から、展示の機会が少なかった資料や初公開の資料を精選した展覧会を企画しました。

展示する資料は、16世紀から19世紀にかけてのイコン（聖像画）やイタリア絵画、藤沢武夫氏寄贈のイタリアを中心とした20世紀美術、および日本人作家の作品になります。イコンは2009年度に特別展「イコン 聖像画の世界」としてコレクションのすべて（全71点）を公開いたしましたが、その後もイコンを見たいというお問い合わせが多いため、このコレクション展でもいくつかを展示します。藤沢氏寄贈の作品では、ブーリ、プランポリーニ、コンサグラ、シローニ、ゴットリーブ、カルダーなど欧米の作家たちの絵画、彫刻、版画などの作品を紹介します。また日本人作家では、三岸黄太郎、片岡京二、海老原省象、山田貞實、田中春弥、田中稔之、後藤和信、北山泰斗などの作品を展示いたします。

このコレクション展は今後定期的を実施して、できるだけ多くの所蔵資料を紹介していきたいと考えています。皆様のご来館をお待ちしております。

（柿崎博孝）



聖母子像 シエナ派
キャンバスに油彩 15世紀



コンポジション アルベルト・ブーリ
キャンバスに油彩 1950年

企画展「ミュージアム・コレクション展 2011」

会期 2011年10月24日（月）～2012年1月27日（金）

開館時間 9：00～17：00（入館は16：30まで）

入館料 無料

休館日 土曜日、日曜日、11/8・9、12/22～1/9

（10/29、11/3・5・6・23・26、12/11、1/14・21・22は開館します）

学芸員によるギャラリートーク 11月18日（金）、12月9日（金）、1月20日（金）

いずれも13：30～14：30 展示会場にて（予約不要）

就任のごあいさつ

教育博物館館長 玉井日出夫

本年4月に教育博物館の館長に就任いたしました。私は、長年、教育や文化に行政の立場で携わってきましたが、その経験を教育博物館の充実のために生かすことができると思っております。どうぞよろしくお願いたします。

1990年頃から、社会の構造が変わってきたと言われていています。確かに、IT革命やグローバル化といった言葉に象徴されるように、経済社会だけではなく、人々の生活の在り方を含め社会の構造が変化しています。

特に、情報化によって、我々はあらゆる情報を瞬時に得ることができるようになりました。また、テクノロジーの革新は、古代から現代までそれぞれの時代の現場を再現してみせたり、DNAの世界から宇宙の果ての世界まであたかも本物のように現わすことができるようになってきました。

しかし、このように情報があふれ、バーチャルな世界があふれることによって、豊かで便利になってきた一方、我々の認識世界は間接的なものになってきました。我々は、「本物」の大切さを再認識する必要があります。

特に、子どもの発達にとって、直接的な体験や実感は、感性を磨き、創造性をはぐくみます。博物館は、「本物」を通じて、それぞれの時代の精神を雄弁に語りかけ、同時に現代社会の問題にも気づかせてくれます。

このため、教育博物館と大学や幼小中高との連携をさらに図っていく必要があります。同時に、学外への情報発信にも一層努めたいと思っています。広く関係者のご意見をいただきながら、またご協力をいただきながら、教育博物館の充実に努めてまいります。

新収資料紹介 藤田東湖先生之像

藤田東湖（1806 - 1855）は、江戸後期の水戸藩士・学者で、『大日本史』の編纂を行う彰考館や、藩校弘道館で活躍しました。さらに第9代藩主徳川斉昭の腹心として、思想言論面でサポートし、水戸学とよばれる独特の思想に基づく藩論や、幕末期の全国の志士たちにも少なからぬ影響を与えています。

藤田東湖の肖像として知られたものがいくつかありますが、数が多いとはいえません。そのような中、最近当館で東湖の肖像画を収蔵することができました。掛軸の箱には、本図がもとは藤田家で所蔵されていたとの書き付けがされており、この点でも興味深いものです。作者「伯文」とは、いかなる人物かはよく分かりませんが、肖像の面差しから、思想家としての東湖の威厳と信念、また母思いであった優しさが伝わってきそうです。

（菅野和郎）

伯文画 絹本着色 114.7 × 35.4cm 掛軸装 製作年不詳



報 告

企画展

2011年5月13日から26日まで、お茶の水女子大学附属図書館に共催していただき、企画展「資料で見る日本の子ども—子育て・幼稚園」開催しました。これは、本学を会場とする日本保育学会の第64回大会にあわせて企画したものです。当館とお茶の水女子大学附属図書館及び同附属幼稚園が所蔵する、明治時代のものを中心とした資料・写真等約140点によって、導入定着期の幼稚園や当時の子どもの姿、子育ての様子を紹介しました。2週間という短い会期でしたが、学会の参加者や本学教育学部の学生を中心に、1388名の方にご覧いただくことができました。



企画展会場風景

東日本大震災

3月11日に東日本大震災（平成23年東北地方太平洋沖地震）が発生しました。被災地の皆様にお見舞いを申し上げます。また、東北地方を中心に多くの博物館や文化財の被害も報告され、大いに心配される所です。

この地震で、本学の所在する町田市は震度5強が観測され、当館でも大きな揺れを感じました。当館では3月初めから照明設備の交換工事のため休館しており、また工事に伴い展示資料もすべて撤去した状態での震災発生でした。そのため来館者はおらず、スタッフを含め人的被害はなく、また所蔵資料・施設への被害もなかったのは幸いでした。

博物館実習

以下の日程で博物館実習を行いました。
通信教育部「学芸員スクーリング」41名
2011年2月7日～12日
通信教育部「夏期スクーリングⅡ期」26名
2011年8月10日～16日
通学課程「博物館実習」6班延べ72名
2011年7月11日～9月14日

資料の貸し出し

次の各館で開催の展覧会に、当館の資料を貸し出しました。

- ・城西国際大学水田美術館「浮世絵で遊ぶ」に「上野公園動物園組上げ」等5点
- ・丸善・丸の内本店ギャラリー「中原淳一と『青い鳥』展」に中原淳一画「青い鳥」舞台衣装原画6点
- ・練馬区立石神井公園ふるさと文化館「江戸時代の百科事始」に梶一嶽画「禽譜」等4点

人の動き

客員教授 柿澤亮三（死亡退職3月7日付）
館長 渡辺一雄（任期満了・退職3月31日付）
館長 玉井日出夫〔芸術学部教授〕
（新任・任期2年 4月1日付）
係長 松田育子（教職センターより転入同日付）

統計（2010年10月～2011年3月）

本館

開館日数 104日 入館者数 5623名

収集

〔資料〕 日本教育史 198件
 芸術 8件
 玉川学園史 6件

〔図書〕 和書 202冊 洋書 0冊

〔定期刊行物〕 和雑誌 39冊
 洋雑誌 18冊

分室

利用者 0名 資料提供 0件

収 集 玉川学園関係 84件

資料をご寄贈いただきました (敬称略 2011年4月～8月)

中村登美枝	書籍	2点	成井 稔	書籍	3点
依藤 貞子	書籍	1点	大竹 文代	書籍	3点
黒萩 泰弘	書籍等	4点	東 日出男	教育史関係資料	10点
杉田 和雄	同窓会報	1点	米村 秀司	書籍	1点
吉中 哲子	書籍	1点	丹 直清	書籍等	8点
藤沢 俊夫	同窓会報	1点	山口 和子	書籍	120点
宮崎 豊茂	教育史関係資料等	7点	首藤 元男	同窓会報	1点
峰岸 由美	書籍	2点	赤塚 洋子	教育史関係資料等	46点
蔣 登茂子	石丸寛作画	2点	児玉 孝男	同窓会報	2点
古海 建一	教育史関係資料	5点	林 俊傑	和刻漢籍等	一括
與世田 勉	同窓会報	1点	金平 純三	玉川学園発行機関誌等	一括
旅順師範学校附属小同窓会 霊玉会	同窓会報	1点			ありがとうございました

質問です

教育博物館に寄せられた質問と、その回答をご紹介します。

Q. テレビ番組制作の関係で、時代背景の調査をしています。1910(明治43)年当時、最終学歴が旧制中学校卒業の者でも、大学に入って天文学を学ぶことができたのでしょうか。

A. 正規の学生になるという前提でお答えします。そのころ国内の大学で天文学を専攻できたのは、東京帝国大学理科大学星学科のみです。当時の「帝国大学令」では、大学入学資格に関する規定がなく、大学ごとに資格を定めていました。そこで『東京大学百年史』に収録の規程を見ると、当時は、①旧制高校・大学予科の卒業生、を基本に定員に余裕がある場合に限り②大学予科と同等程度の学校の卒業生、③大学予科(高校)卒業生と同等の学力を認定する試験の合格者、の入学を許可することになっていました。ですからご質問の例では、③の試験に受ければ、中卒でも進学できるルートが制度的にはあり得たこととなります。ただし、現実に東大の星学科がこうした学生を採っていたのかどうかまでは、残念ながら当館では分かりかねます。この点は、東京大学の史料室などにお尋ねになるのが宜しいかと思えます。

(菅野)

お知らせ

- ・2012年1月16日から2月10日まで、玉川学園 K-12 社会・地歴・公民科の主催で、広島平和記念資料館から資料を借用し、「歴史に学ぶ～Hiroshimaからわたしたちへ」を当館で開催します。
- ・2012年2月22日から2月27日まで、芸術学部の主催で、「第7回玉川大学芸術学部ビジュアル・アーツ学科卒業プロジェクト作品展2012」を当館で開催します。
- ・2012年2月から3月に、空調機の交換工事を行う予定です。騒音発生等でご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。

ミュージアムグッズのご紹介

新たに館蔵のイコン7点、イタリア宗教絵画2点の絵葉書(各100円)ができました。絵柄は、いずれも聖母子像です。またイコン2点、イタリア宗教絵画2点の、作品シート(各200円)も製作しました。

既刊のものも含め、当館の図録や絵葉書等のミュージアムグッズは、教育博物館窓口のほか、玉川学園購買部でも販売しています(玉川の在学生・教職員には、割引価格でご提供します)。また、購買部では通信販売の取扱いもいたします。(詳細は購買部にお尋ねください。電話042-739-8945)

ぜひご利用ください。

2011年度開館カレンダー

2011年 10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2012年 1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月

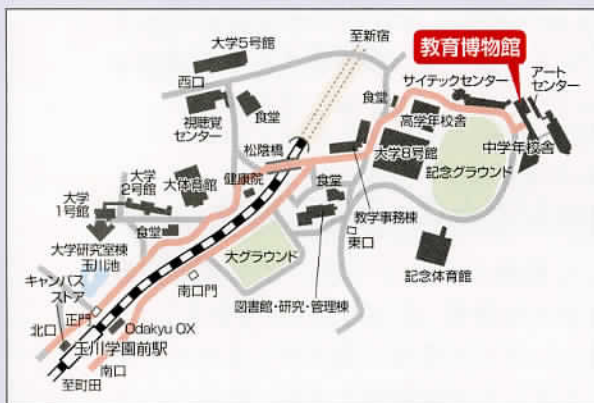
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29			

3月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

- 10月24日(月)～1月27日(金) 企画展 ミュージアム・コレクション展2011
- 1月16日(月)～2月10日(金) 歴史に学ぶ～Hiroshimaからわたしたちへ
- (1月30日(月)～2月10日(金) 歴史に学ぶ展及び第1展示室のみ公開)
- 2月22日(水)～2月27日(月) 第7回玉川大学芸術学部ビジュアル・アーツ学科卒業プロジェクト作品展2012
- 休館日
- 第1展示室(日本教育史常設展示)のみ公開

※この予定は、電力事情、年間学事計画等により変更することがあります。
 詳細は当館ホームページをご覧ください、電話等にてお問い合わせください。



利用案内

- 開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 日曜日・土曜日・祝休日・玉川大学の定める休日・展示替期間
(日曜日・土曜日及び祝休日に大学の通常授業や学校行事が行われる場合、当館も臨時に開館することがあります。詳細はお問い合わせください。)
- 入館料 無料

交通手段

小田急線「玉川学園前」駅下車 徒歩15分
 駅南口を出て、線路沿いの道を新宿方向に進むと、玉川学園の校門(南口門)に行き当たります。博物館の建物の位置は、校門の案内所でお尋ね下さい。
 (来館者用駐車場はありません。また校内での園児・児童・生徒・学生の安全のため、お車での来館はご遠慮下さい。)

博物館ニュース SHŪ No.37

2011年10月1日

編集・発行 玉川大学教育博物館

〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1

TEL 042-739-8656 FAX 042-739-8654

www.tamagawa.jp/research/museum/

『SHŪ』とは『集』、博物館がさまざまな「集められたもの」をめぐり、多くの人々の「集いの場」になることを目指して名づけたものです。